

園長だより「引き渡し訓練」第35号

7月11日（金）に初めて「引き渡し訓練」を実施いたしました。保護者の皆様におかれましては実施に際してご理解ご協力を賜りありがとうございました。色々と想定はしていましたが、実際にやってみると改善しなければいけない課題もたくさん出てまいりました。来年度の「引き渡し訓練」に向けて工夫改善をしていきたいと思っております。

日本は夏から秋にかけてたくさんの台風がやってきます。不規則な進み方をする迷走台風と呼ばれるものもありますが、ほとんどの台風はある程度の進路が予想され、進行するスピードもわかります。そのために台風接近に伴い、荒天になる時刻も予想できるので、私たちはお子様の安心安全を確保するために早めに休園の判断をしたり、保護者の皆様にお子様のお迎えを依頼したりすることになります。刻々と変わる台風情報を見ていればさほど難しい判断ではありません。

ただ、当然ですが地震は予測などできません。突然やってきます。あまりに突然やってくるものですから、その時の混乱具合は並み大抵ではありません。大きな地震に見舞われると建物は倒壊し、それに伴う火災も発生します。津波が発生することもあります。みな様ご存じのように阪神淡路大震災では火災によって、東日本大震災では津波によって多くの尊い命が奪われることになりました。地震によって交通網は寸断され、通信網も思うようにならなくなります。さらに水道・電気・ガスのようなライフラインも断たれることになると思います。

私たちはそのような非常に厳しい状況の中でもお預かりさせていただいているお子様の安心安全を確保することがとても大切なことだと考えております。そして、何よりもお子様を保護者の皆様に確実に引き渡すことが最も大切な使命だと考えています。

引き渡しに関するマニュアルも作成いたします。ただ、その時の災害状況によってマニュアル通りではなく臨機応変に対応していかなければいけないことが多くなると思います。マニュアル通りにいかないということはスムーズにはいかないということです。お子様の安心安全を確保し、確実に保護者の皆様にお引き渡しするためには保護者の皆さまのご理解ご協力が不可欠です。どうかよろしくお願いいたします。

南海トラフ地震。もちろん、できることなら発生してほしくはありませんが、専門家の間では確率は決して低くないと言われています。行政も万が一のために様々な対策をしています。南海トラフ地震の被害を0にすることは現実的に不可能かもしれません。でも、減災という視点で少しでも被害を少なくするための準備や心構えは必要だと思います。国としては当然ですが、都道府県単位で、市町村単位で、そして何よりも家族単位で南海トラフ地震に備えておくことが非常に大切だと思います。さて、保護者の皆様はどのような備えをしておられますか。